

長野県森林づくり県民税の活用状況等について

森林政策課

1 令和7年度事業の執行状況

令和7年度の長野県森林づくり県民税（以下「森林税」）活用事業の執行額※は、701,708 千円（執行率 86%）であった。事業の浸透により、執行額は着実に増えている状況。

（直近5年間の年度別森林税執行状況）

（単位：千円）

	第3期		第4期		
	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
予算額	992,341	693,970	624,870	768,584	817,751
執行額	960,972	614,056	489,954	660,705	701,708
執行残額	31,369	79,914	134,916	107,879	116,043
予算執行率	97%	88%	78%	86%	86%

※執行額は翌年度への繰越額も含めて計上

2 令和7年度事業の取組状況

（1）概ね目標を達成した取組

「森林サービス産業などの森林の多面的利用の推進」、「広く県民が利用する施設等の木造・木質化」など、県民の皆様が森林とのつながりをより深めることを目的とした取組を始めとして、概ね目標を達成。

（主な事業の目標と実績）

数 値 指 標	R7 目標	R7 実績
森林サービス産業の創出取り組む地域プロジェクト数	10 プロジェクト	10 プロジェクト
木造・木質化等の箇所数	11 箇所	16 箇所
鳥獣被害防止のための緩衝帯の整備箇所数	38 箇所	40 箇所



北信合同庁舎 受付（中野市）

森林サービス産業の取組事例
（創業支援・地域活動支援等）

（2）目標の達成に向け強化が必要な取組

第4期森林税から取り組む「再生林の加速化」は、全県で取組が進むよう普及啓発に取り組む中で、昨年度に比べ 1.5 倍の実施面積となったが、地形や樹種による収益性をはじめとする課題により、再生林面積は目標値を下回った。

また、防災・減災のための里山の整備（間伐）を推進する「みんなで支える里山整備事業」では、実施面積は昨年度に比べ倍増したものの、森林所有者の同意等の遅れにより、計画どおりに進まなかった箇所もあり、実績が目標を下回った。

これらの事業については、県下各地域で事業者向けに説明会を開催、事業周知のほか意見交換を行うなどし、引き続き制度活用に向けた取組を進めてまいり。

(再造林の加速化及び防災・減災の里山の整備の目標と実績)

数 値 指 標	R 7 目 標	R 7 実 績	R6 実 績 (参考)
再造林面積 (再造林の加速化)	580 ヘクタール	358 ヘクタール	238 ヘクタール
間伐面積 (防災・減災の里山整備)	527 ヘクタール	351 ヘクタール	177 ヘクタール



人工造林・初期保育（植栽・下刈り等）の実施

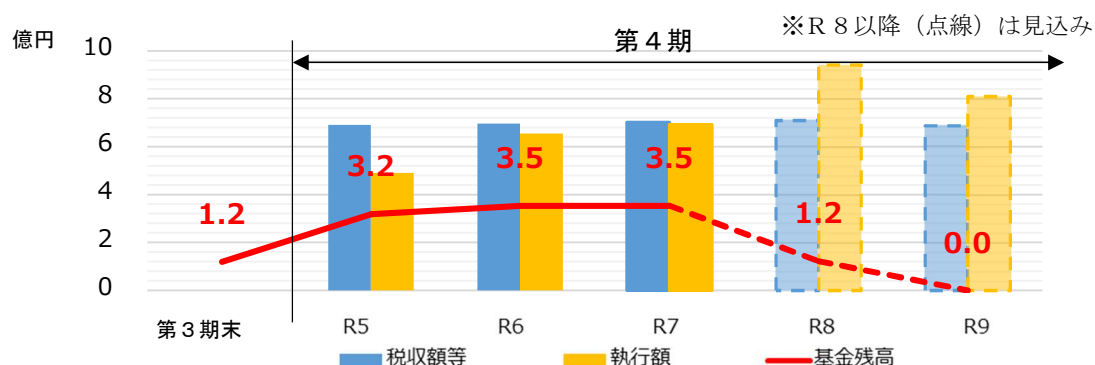


防災・減災のための里山の整備（飯田市）

3 基金残高の推移

令和7年度の長野県森林づくり県民税基金の残高は、前年度からほぼ変わらず、約3.5億円となった。残高は、段階的に増加させていく再造林など数値目標に達していない事業や、より効果を高める必要のある事業に活用していく。

(基金残高の見通し)



4 令和8年度の予定

第4期森林税（令和5～9年度）が開始されてから3年が経過し、上記のとおり概ね目標に沿った進捗となっている事業がある一方、目標の達成に向け強化が必要な事業もあり、検討を踏まえながら事業実行をしていく必要がある状況。

6月に開催したみんなで支える森林づくり県民会議では、令和7年度森林づくり県民税活用事業の実施状況の説明を行い、現状の課題解決に向けたご意見をいただいたところ。

今年度は、県民会議でのご意見も踏まえながら、森林づくり県民税の基本方針を見直すなど、地域の実情に沿いながら、各事業の成果をより高めていく。

(スケジュール)

- | | |
|-----------|----------------------------------|
| 令和8年6月17日 | 第1回県民会議 |
| (実施済) | ・令和7年度事業の検証・評価、事業全般の現状や課題に対するご意見 |
| 令和8年8月頃 | 第2回県民会議 |
| | ・令和9年度事業の方向性検討 |
| 令和8年12月以降 | 第3回県民会議 |
| | ・これまでの事業に係る検証・評価 |